

保健室の1年間



1年間大変お世話になりました。保健室の様子をお伝えします。

保健室利用件数は 3118 件(令和 6 年 2 月 28 日現在)でした。半数以上が怪我などの外科的事由、続いて発熱などの内科的事由、相談・休養、服薬介助の順で来室する割合が高くなりました。

今年度は、新型コロナウイルスやインフルエンザ、胃腸炎、溶連菌など、様々な感染症が流行しました。手洗い・うがいに加えて、教室の換気にも努め、これからも感染症拡大防止に取り組んでいきます。保護者のみなさまにおいても、学校保健に御協力いただきありがとうございました。

思春期以降に発症しやすい病気 とうごうしつちようしやう 統合失調症について

統合失調症とは、こころや考えがうまくまとまらなくなる精神的な病気です。幻覚や妄想といった症状が現れ、多くは 10 歳代の後半以降、30 歳くらいまでに発病します。

統合失調症になると、以下の 2 つの症状が現れます。

◎陽性症状

- 幻聴：聞こえないはずの音が聞こえる
- 幻視：見えないはずのものが見える
- 幻嗅：におわないはずのものがにおう
- 妄想：事実ではないことを信じ込む

◎陰性症状

- 感情や表現力が乏しくなる
- 意欲が低下する

統合失調症は日本でおおよそ 100 人に 1 人が発症しており、珍しい病気ではありません。治療によって安定した状態を維持している患者様も多いため、じっくりと治療に向き合えば回復できます。

早めに治療するほど症状が重くなりにくいといわれているので、早期発見と早期治療が大切です。気になる症状があった際には、精神科に受診いただくと安心です。

保健室でも、いつでも相談を受け付けております。

